

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第1回相模原市大規模事業評価委員会		
事務局 (担当課)		経営監理課 電話042-769-9240 (直通)		
開催日時		令和6年10月7日(月) 午後3時~午後4時		
開催場所		相模原市立図書館2階 中集会室		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)		
	事業所管局	2人(市長公室参事(淵野辺駅南口周辺まちづくり担当)、政策課主査)		
	事務局	3人(総合政策・地方創生担当部長、経営監理課長、同総括副主幹)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 議 事 (1) 淵野辺駅南口周辺まちづくり事業について 3 その他 4 閉 会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

定足数の確認を行い、大規模事業評価委員会を開会した。

2 議事

(1) 淵野辺駅南口周辺まちづくり事業について

傍聴者の確認を行った後、太田市長公室参事より、資料1及び2に基づき説明を行うとともに、鈴木経営監理課長より、資料3及び参考資料に基づき説明を行い、質疑応答・意見交換を行った。

(以下、質疑応答・意見交換 ○は委員の発言、●は事業所管局及び事務局の発言)

- 今回の事業については、DBO方式といった整備手法までが評価対象となるのか。(吉川副会長)
- 今回の事業手法はDBO方式を考えているが、複合施設の中にはまちづくりセンターなどの直営部分のほか、貸館部分は民間活力の活用を考えており、そういった部分も含めて評価の対象となる。(太田市長公室参事)
- まちづくりセンターや青少年関係の施設であれば市の直営で運営する形が考えられる一方、図書館は、民間委託も選択肢として考えられるかと思うが、現時点においてそうした運営手法まで決定しているのか。それともある程度まだ検討する可能性があるのであれば、そうした市の検討状況によっては、評価の仕方が変わってくるのではないかと。(吉川副会長)
- ご指摘のとおり、まちづくりセンターは市が直営で実施するものであるが、図書館の窓口業務については民間委託が可能なものである。また、公民館や青少年学習センターについては、自主事業は直営で実施するものであるが、貸館業務は民間のノウハウを活用することも考えられることから、現在、そうした運営手法については整理しているところであり、どういった手法を検討しているかについては、今後しっかりと示していきたい。(太田市長公室参事)
- 青少年関係の施設であれば、中学生や高校生へ居場所の提供をしている自治体もあるが、市の政策としてこうしたことを進めていくといった方針はあるか。(吉川副会長)
- 中学生や高校生の居場所づくりについては市としても課題認識として持っており、現在、青少年学習センターがそうした役割を担っていることから、今回そうした施設を複合化するに当たり、複合施設の中でも居場所づくりの部分は検討していく必要があると考えている。特にソフトの部分については、民間事業者からの提案なども踏まえながら、具体的な手法を検討していきたい。(太田市長公室参事)
- 子育て相談の機能についてはどう考えているか。(吉川副会長)

- 複合化する施設の中には、児童館の機能も含まれており、複合化後も子どもたちが自由に過ごせるスペースをしっかりと確保した上で、市としては子育て分野に力を入れていることから、子育て機能についても民間事業者からの提案を踏まえながら整理していきたいと考えている。(太田市長公室参事)
- 過去に別の所で調査した結果、自宅で音出しすると近所迷惑になるため、例えば高校生がブラスバンドや金管バンドの練習などができる音出し可能な貸館は人気が出る傾向があったが、今回、利用者の需要を捉えた上で、そういった施設を整備しようとしているのか。(吉川副会長)
- 現在の青少年学習センターや公民館の利用実態としては、ダンスやバンドなどの音が出る活動をする団体の利用が多い。また、そうした団体は5、6人程度で利用することが多い傾向にあることから、複合施設においては、音出しができる貸室について、あまり大きな部屋を整備するというよりも、使い勝手の良い施設にしていきたいと考えている。(太田市長公室参事)
- 和室や料理実習室は利用率が低い傾向にあるようだが、どう考えるか。(吉川副会長)
- 和室については利用率が低いことから、部屋数を少なくすることは考えているが、単なる和室ではなく、和室の機能は確保しつつ、茶道の教室にも使えるような仕様にするなど、幅広いニーズに対応できるように検討を進めていきたい。また、料理実習室についても、調理することだけに特化してしまうと、利用率の課題もあることから、調理以外の利用もできるような仕様について検討していきたい。(太田市長公室参事)
- 現在の図書館敷地と公園の間にある道路については、そのまま残す形となるのか。(吉川副会長)
- 道路ネットワークのこともあり、そのまま残す形で考えている。(太田市長公室参事)
- 複合施設を公園内に建てる場合、都市公園法などの規制がかかるが、どう整理しているのか。(吉川副会長)
- まちづくりセンターは、都市公園法の制約があるが、立体都市公園制度を活用する中で整理していきたい。(太田市長公室参事)
- 公園内の「白鳥池」は市の文化財に指定されているかと思うが、市の社会教育行政との整合は図られているか。(吉川副会長)
- 文化財保護課とは事前に調整している。(太田市長公室参事)
- 「白鳥池」の水源は何か。建物ができた際に、干上がってしまう心配はないか。(吉川副会長)
- 地下水をポンプでくみ上げていることから、そうした問題はない。(横溝政策課主査)
- 資料3の評価の視点において、「事業の有効性」として「課題解決のための最も有効な手段か」といった項目があるが、今回、公共施設を複合化することで、どのような政策課題を解決していこうとするのか。その部分については、評価に当たっ

でもっと明確にすべきではないか。資料2の6ページの図式について、もっと具体的に分かりやすくすると、そうした有効性がクリアになるのではないか。また、その効果を引き出す手法としてPFI手法が良いのか。せっかく複合化したのに事業や実施主体を細かく切り分けてしまうと、複合化したメリットが薄れてしまいかねないことから、あまり望ましくないのではないか。他の自治体において、図書館、公民館、屋外の公園、屋内の体育館を複合化するといった事業の事業者選定に携わったことがあるが、やはり一事業者で全てを対応できないため、複数事業者でチームを組んで手を挙げてくることで、民間のノウハウがしっかりと発揮されるといったことがあるので、市の方であまり固め過ぎず、柔軟に対応できると良いのではないか。(奥委員)

- 資料2の7ページに複合施設の概要としてそれぞれの面積が記載されており、8ページには、自転車駐車場の再整備の内容が記載されているが、複合施設、公園の駐車場の面積や自転車駐車場の収容台数はどの程度か。(奥委員)
- 複合施設及び公園の駐車場としては、約140台分の確保を想定している。また、駅前の自転車駐車場については、既存の第1と第2を合わせて3,748台である。自転車駐車場については、最近では、子どもを乗せられる大型の電動自転車の利用が多く、建設当時の自転車ラックでは今の利用者のニーズと合わないといった課題があり、そうした課題への対応を整理しつつ、現在と同程度の台数は確保する必要があると考えている。(太田市長公室参事)
- 今後、自転車駐車場は公共施設の跡地に移転するのか。(奥委員)
- 公共施設の跡地に移転建替えるのか、今ある自転車駐車場の現地で建て替えるのかについては、今後、検討していきたい。なお、現地建替の場合であっても、公共施設の跡地に仮設のものを作って、サービスの提供は継続しながら整備を進めていきたいと考えている。(太田市長公室参事)
- いずれの手法においても、市有地として創出されるのは、資料2の8ページにある約6,300㎡ということか。(奥委員)
- 現在のまちづくりセンター・公民館の敷地及び自転車駐車場の敷地を合わせたものである。どちらに自転車駐車場を建てるのかによって、有効活用できる面積は変わってくる。(横溝政策課主査)
- 「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョン」(以下、「まちづくりビジョン」という。)の15ページから17ページに、現在ある各施設の概要や面積が記載されている。(大田総合政策・地方創生担当部長)
- 公園のリニューアルに当たり、テニスコートは引き続き利用できる一方、野球場は廃止となり利用できなくなるとのことだが、市民の意見やニーズはどう捉えているのか。また、参考資料において、野球場の利用率が56%という数字があるが、これは閉鎖されている期間を除いて計算した数字になるか。(堀内委員)
- これまで市民検討会において、それぞれの施設の利用実態がある中で、なるべく多くの人が使えらる施設が必要であるといったことから、野球場は廃止の方向性で検討を重ねてきた経緯がある。また、スポーツ協会の野球に関係する団体とは事前に

話をして理解を得ながら進めてきている中、こうした方向性が決定されたものと認識している。なお、利用率の算出方法については、委員の指摘のとおりである。(太田市長公室参事)

- 相模原駅北口にあるスポーツレクリエーションパークにおいて、野球場が新たに整備されることなども併せて説明している。(鈴木経営監理課長)
- 現在、駐車場は無料なのか。また、リニューアル後は有料となるのか。(堀内委員)
- 現在、駐車場は無料であるが、適正利用を図るため、有料化に向けた検討をしていきたいと考えている。(政策課横溝主査)
- 図書館の運営について、他自治体においては、ツタヤやスターバックスなどの事業者が入っているケースもあるが、そういった業者を入れることを目指しているのか。(堀内委員)
- 現時点で、どの事業者が入ることまでは言えないが、図書館機能としてはこういう水準のものを用意したいと考えていく中で、そうした条件を示しながら民間事業者からの提案を受けて検討していきたい。市民の利便性が向上するようなことを考えていきたい。(太田市長公室参事)
- 先行事例も参考にしながら、市民がどう受け止めるかといった視点も踏まえて検討を進めて欲しい。(堀内委員)
- 資料3の説明において、前回まで評価していた「事業の採算性」については今回の評価の視点からは外すということで、確かに前回の事業においてもなかなか採算性を図るのは難しいということであったが、今まで検討していたものを検討しないようにしてしまうのが良いのか。確認事項として、採算性は取れないにしても、どれだけの費用がかかって、一部収益があって、結果、市がどれだけの負担をするのかといった点については、確認しないと分からない部分もあるのではないかと。(碓井委員)
- 維持管理の部分が中心となってくる話であり、その部分はしっかりと示していきたいと考えているが、具体的にどのように歳入を生み出していくのかといった視点については、駐車場の有料化の話も含めて、必要に応じて考えていきたい。(鈴木経営監理課長)
- まちづくりビジョンの62ページに今後のスケジュールが載っており、令和5年度に民間活力導入可能性調査、大規模事業評価を実施する予定となっているが、大規模事業評価は令和6年度にずれ込んでいるが、民間活力導入可能性調査は実施しているのか。(小野田会長)
- 既に実施済みである。(太田市長公室参事)
- まちづくりビジョンの内容と本日の資料の内容とに空白が感じられるが、どこまで決まっているのか。調査をしているのであれば、どこが出発点になるのかを明らかにする上でも、その結果についてもきちんと示して欲しい。(小野田会長)
- 資料2の10ページにおいて、令和6年度にまちづくりプラン策定とあるが、これももう動いているのか。(小野田会長)

- 具体的には、策定に向けた検討は進めている。来年2月に大規模事業評価における答申をいただいた後に策定という流れになり、今年度末を目途に作業を進めている。(太田市長公室参事)
- まちづくりプランとはどんなイメージか。その作業内容がよく分からない。大規模事業評価と同時並行で進められるものなのか。ある程度固まっているものを公式見解にするだけなのか。アドバイザリー業務委託についても令和6年度分は動いているのか。(小野田会長)
- アドバイザリー業務委託については、まだ動いていない。令和8年度までの3年間に動いていくイメージである。(太田市長公室参事)
- まちづくりビジョンを策定した令和4年度以降の細かい動きが分かった方が望ましい。(小野田会長)
- DBO方式で進める場合に、何年を想定しているのか。(小野田会長)
- 維持管理運営期間は15年を想定している。民間活力導入可能性調査において、民間事業者の意見を聞いた中でも、ある程度期間があった方が良く、大規模修繕が不要な期間が良いということで15年程度といった意見が多かった。(太田市長公室参事)
- 最近、他の自治体において、民間事業者が破綻して給食を提供できなくなるといった問題があったが、民間活力を活用する上で、民間事業者が事業を進められなくなるリスクがあるということは想定しているのか。(堀内委員)
- 事業者から提案を受ける際にも、そうしたリスクに対する考え方をしっかりと聞き取った中で検討していく。市として事業ができなくなるといったことはあってはならないと考えている。(太田市長公室参事)

3 その他

次回の委員会について、12月を予定しており、今後日程調整する旨説明した。

4 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

令和6年度第1回相模原市大規模事業評価委員会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	碓井 敦子	公認会計士		出席
2	奥 真美	東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授		出席
3	小野田 弘士	早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授	会 長	出席
4	堀内 勉	ものづくり大学 技能工芸学部 情報メカトロニクス学科 教授		出席
5	吉川 徹	東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 建築学域 教授	副会長	出席